

内視鏡的大腸粘膜剥離術(大腸ESD)で入院された方へ

入院診療計画書

患者番号:

患者氏名:

様

日付	治療前日	治療当日		治療後1日目	治療後2日目～4日目
		治療前	治療後		
目標	・治療の注意点について理解できる	・治療の注意点について理解できる	・指示の安静を守る ・腹痛や吐き気の症状がみられた時には医師や看護師に伝えることができる	・腹痛や吐き気の症状がみられた時には医師や看護師に伝えることができる	・腹痛がなく食事摂取できる ・退院後の生活の注意点について理解できる
内服	・中止を指示された薬を除いていつも服用している薬はのんでください ・夜9時頃下剤を内服します	・医師の指示に従ってください ・朝、7時より2リットルの下剤を内服します(火曜日が治療日の際は、朝5時から下剤を内服してもらう場合があります)		・薬は医師の許可が出たら内服してください ・中止を指示された薬の再開に関しては医師の指示に従ってください	・通常どおり内服してください ・中止を指示された薬の再開に関しては医師の指示に従ってください
注射		・午前中に左手に点滴の針を入れます ・治療前から点滴を開始します	・点滴があります	・点滴があります 	・治療後3日目まで点滴があります
検査				・朝、採血があります	・治療後3日目に採血があります
処置		・弾性ストッキングをはきます ・治療に出る前に義歯、眼鏡、指輪、時計など金属類、湿布・エレキバンなどは外してください	・病室に戻ったら、心電図モニターや酸素吸入を行います ・時間毎に体温・脈拍・血圧を測ります	・酸素吸入中止します ・医師診察後、許可あれば心電図モニター、弾性ストッキングが外せます	
食事	・夕食は食べれます ・夜9時以降は食べることはできません	・食べることはできません ・水分(水・お茶)は可能です 	・飲んだり食べたりすることはできません 	・医師の許可後、水分(水・お茶)摂取できます 	・2日目:朝～流動食 タ～3分粥 ・3日目:昼～5分粥 ・4日目:全粥 
活動	・制限は特にありません	・制限は特にありません	・麻酔から目が覚めるまでは床上安静です	・病室内フリーです	・病棟内フリーです 
排泄	・制限は特にありません	・尿の管を入れ、オムツを着用します 	・麻酔の影響でふらつきが強い状態です ・トイレに行きたいときはナースコールを押してください	・尿の管を抜きます ・ふらつきがある場合は看護師が見守りますのでナースコールを押してください	
清潔	・許可が出ている方は入浴しましょう			・身体を拭きます	・2日目よりシャワー浴ができます
説明	・同意書を提出して下さい ・オムツを1枚用意してください	・治療中、ご家族の方は内視鏡室で待機をお願いします			・治療後4日目に栄養指導があります ・治療後4日目に退院予定です
※これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りにいかないこともありますので、ご了承ください。					
主治医名		担当医名		主治医以外の担当者:看護師	
管理栄養士		栄養管理の必要性 有り		リハビリ担当	
上記について説明を受けました		署名		ご本人以外の場合患者様とのご関係()	